

令和7年（2025年）度

長房中学校学校区3校学校運営協議会会議録

日時：令和7年7月15日（火）（16：00～17：10）

会場：長房中学校被服室

（進行）長房中副校長

（記録）長房中池澤主幹教諭

1 開催校長挨拶

- ・長房中学校区の活動にご協力、ありがとうございます。
- ・義務教育学校始動に向けて動いている。
- ・地域の活動と結びつけたキャリア教育を進めていく。

2 各学校運営協議会長挨拶

長房小：義務教育学校の具体的な中身がわからないのが困ってしまう。

船田小：学運協が様々な行事を行っている。

長房小：校長からの中学校の実情の報告を受け、対応について委員で検討している。

3 自己紹介（出席者全員）

長房小：森会長、縣、山西、黒部、川村校長、小山主幹教諭、池浦、天野

船田小：宇田会長、川田、鳥、榎本、久保井、野場校長、小影副校長

長房中：山口、坂本、大谷、木村、片岡、塚本会長、上田校長、池澤主幹教諭、齋藤副校長

4 各学校の様子（校長）

長房小：運動会無事終了、子どもたち落ち着いてきた。キャリア教育、3年前から体験や講話など様々な取組をしている。小中校の連携を進めていきたい。

生活指導として、挨拶・言葉遣いに力を入れている。SNSとお金の扱い方が課題である。

船田小：子どもたち落ち着いている。縦割りの取組がキャリア教育の一環と言える。自立・自律に向けた活動を行っている。

長房中：将来必要となる力は、学び続けていく力である。系統性をもって、これに取り組もうとしている。社会とのつながりのアイデアをいただきたい。

5 長房中学校区小中一貫教育について

・漢検と英検の取組を3校で協力していきたい。英検は長房中で、漢検は船田小で実施できるとよい。お金の管理も一本化しようとする、大変なので、これに関しては各校で管理するとよいのではない。例えば漢検などは、すべてを合同で行うのが難しいようであれば、年1回は合同で行い、あとの2回は中学校独自で行うなどの取組が考えられる。

・このような合同学運協を年1回から各学期に1回程度行えるとよい。

・富士森高校の校長先生もこの学運協に参加したいと言っていた。富士森高校も地元の小中学校と交流を深めていきたいと考えるようである。

・船田小で行っている「星を見る会」を合同でできるとよいのではない。